

斎藤委員提出資料

- 「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤル実施報告書（２００８年３月）

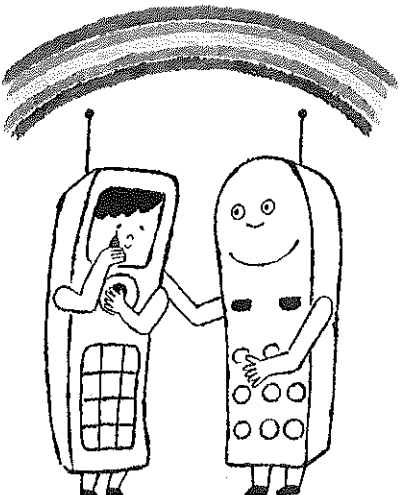
第４回自殺対策推進会議

「自殺予防いのちの電話」

－フリーダイヤル－

実施報告書

2007年度厚生労働省補助事業



あなたがつらいとき、
近くにいます。

24時間、国にほろろ
ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください。

自殺予防 いのちの電話

2007年9月～2008年3月の毎月10日は、フリーダイヤル。

0120-738-556

9月10日
より

毎月10日 8:00～翌日8:00
(24時間・無料です)

※2007年 9月10日・10月10日・11月10日・12月10日 2008年 1月10日・2月10日・3月10日※

主催：社会福祉法人いのちの電話 後援：厚生労働省 <http://www.find-j.jp/> 日本いのちの電話連盟

日本いのちの電話連盟加盟センター
社会福祉法人いのちの電話

2008年 3 月

「自殺予防いのちの電話」実施報告書

目 次

はじめに	1
2007年度自殺防止対策事業実施概要	
1. 自殺防止のためのネットワーク構築事業	2
2. 相談員研修活動等推進事業	2
3. 自殺防止相談窓口の普及・啓発事業	3
4. その他自殺防止のために必要な事業	3
5. 全国いのちの電話フリーダイヤル受信体制一覧表	4
事業内容報告	
Ⅰ. 自殺防止ネットワーク構築事業	
日本自殺予防シンポジウム（第32回：福岡）	5
Ⅱ. 相談員研修活動等推進事業	
1. 研修支援のための講師派遣	8
2. 来年度計画案	8
Ⅲ. 自殺防止相談窓口の啓発事業	
1. フリーダイヤル相談の実施	
(1) 広報活動	9
(2) 受信状況とその分析	12
(3) ふりかえり	17
(4) 受信状況統計	18
(5) 相談状況・背景票	20
2. 公開講座の実施	
(1) 実施一覧表	24
(2) 実施状況とふりかえり	25
Ⅳ. その他自殺防止のために必要な事業	27
総 括	28

はじめに

2007年度フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」補助事業終了にあたって

日本いのちの電話連盟理事長
樋口和彦

2007度も、おかげさまでフリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」をはじめとした自殺予防のための事業が終了しましたので、報告書をお手元にお届け出来ますことを大変うれしく存じます。

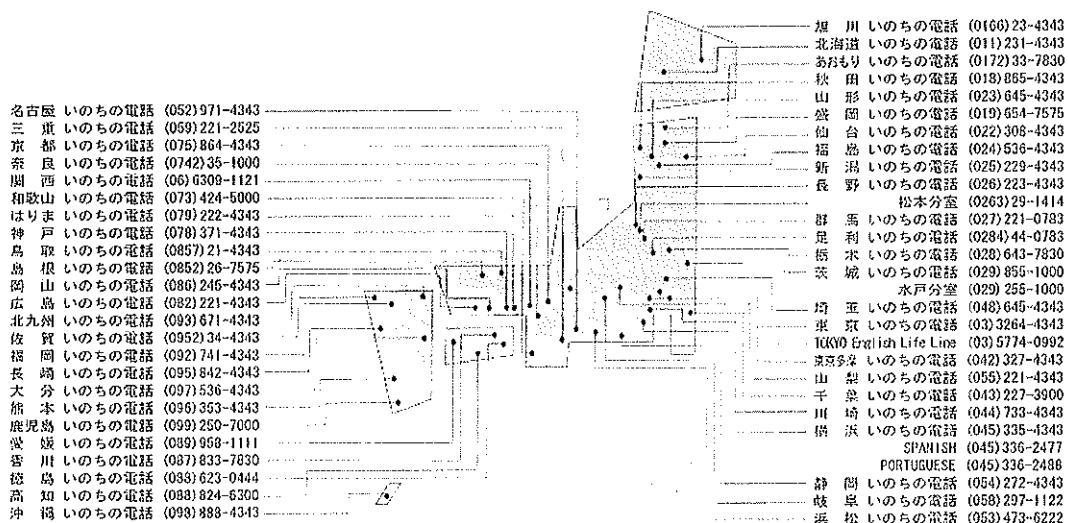
これも関係の皆様の大変な努力の結果であると、心から感謝しております。本年度は報告書にございますように17,154件（2006年13,379件）の総受信件数を数えました。（総数の内、自殺志向5,753件 2006年4,083件）

従来の12月の1週間を、新たに9月～3月まで「毎月10日」に年間を通して7回自殺予防の電話相談事業を行うことになり、これが定着し初期の成果を挙げたものと考えております。

今後なお一層の結果を期待して、その基本的な資料としてここにお送りする次第です。これについてはすでに、中間の経過報告を各種の会合をとおしてその都度ご報告しておりましたが、2007年度の事業報告としてここに、お届け申し上げます。

なお、本年度も、本事業の推進にあたる内外の関係委員の皆様方のそれは、それは、多大なご尽力で、はじめて達成したと言えると思います。

終わりにあたり、ここに改めて、深甚の感謝を申し述べたいと思います。



2007年度自殺防止対策事業実施概要

2001年度から始まった「自殺防止対策事業」は、厚生労働省の自殺防止対策事業補助金交付を社会福祉法人いのちの電話が受け、日本いのちの電話連盟・補助事業推進委員会が推進し、加盟センターの主体的な参加によって実施されている。2007年度は、これまでの12月初めの1週間のみの実施期間を改め、毎月10日（午前8時～翌日8時・24時間）実施とし、世界自殺予防デー（9月10日）を皮切りに開始された。これにより「自殺予防いのちの電話」は、年度内を区切りとして毎月継続的にこなわれる事業となった。

1. 自殺防止のためのネットワーク構築事業

（1）日本自殺予防シンポジウムの開催

「いのちの電話」が、「日本自殺予防学会」発足以来ともに取り組んでいる日本自殺予防シンポジウムは、全国規模でのネットワーク構築事業の一環としておこなっている。2007年度は「第32回日本自殺予防シンポジウム福岡大会」（日本いのちの電話連盟・日本自殺予防学会共催、担当センター：福岡いのちの電話）として開催され、福岡県内を中心に関係諸機関や市民らが多数参加した。参加者数504人

開催日：6月30日 場 所：ももちパレス（福岡県勤労青少年文化センター）

テーマ：「ひろげよう支えあう絆 ～生きる力を信じて～」

基調講演講師：昇 幹夫（日本笑い学会副会長・産婦人科医）

演 題：「あなたの笑顔 によりクスリ」

分科会テーマ：

第1分科会「高齢者のうつへの気づきと対応」第2分科会「職場における『いじめ』」第3分科会「子どもの『いのち』を支えるために」第4分科会「企業破綻、多重債務の苦しみと自殺」第5分科会「身近な死」第6分科会「インターネットによる自殺予防の可能性」

（2）ホームページの充実

日本いのちの電話連盟のホームページを充実し、随時内容を更新し、社会に向けて「自殺予防」についての情報発信をおこなった。連盟ホームページへのアクセス数は年々増加し、リンク依頼も諸団体、諸機関からの問い合わせがある。

2. 相談員研修活動等推進事業

（1）相談員研修の実施

昨年度まで開催した全国ブロック別研修で得られたノウハウを参考にして、各センターごとに相談員研修をおこない、電話をとおして、いかにして自殺念慮者の「こころの悩み」を聴き、それに共感していくかなどをテーマとして研修をおこなった。

（2）講師派遣

要請のあったセンターには講師派遣をおこない、実際の自殺危機に対する危機介入の方法・電話相談後のケア（ロールプレイ・講義など）について相談員対象の研修を行った。

派遣講師：13名 実施センター：9 参加者計：489名

（3）第10回全国研修担当者セミナーの開催

全国いのちの電話の研修担当者のための「自殺予防」をテーマとした研修会を奈良にて開催した。

①日 時：8月10・11日 場 所：地方職員共済組合猿沢荘（奈良市）

②開催センター：奈良いのちの電話